

東部海浜開発事業検討会議 会議報告 VOL.8

日時 平成19年5月25日(金) 17:00~
場所 沖縄市産業交流センター 大研修室

検討委員(五十音順・敬称略)

伊良部光宏 岩田健吉 大田至 島田勝也(副座長) 高江州昌和
當山真由美 比嘉徹 藤田喜久 宮平栄治(座長) 藁科邦利

議題)市民等の意見の聴取について

市民団体等へ送付する調査票の作成

第7回の会議で、本事業に対して関心の高い団体に対し調査票を送付・回収し、その内容を踏まえた上で聞き取り調査を行なうことが確認された。その後行われた勉強会の中で調査票の案を作成、今回の会議で最終調整・確認を行った。

調査票の内容(一部抜粋)

調査票の内容(一部抜粋)	設問の目的
1. 貴団体の東部海浜開発事業に関連した活動内容について ① 国・沖縄県に対してどのような要請等をしてきましたか？ ② 沖縄市に対してどのような要請等をしてきましたか？	活動内容や、事業への関わりを確認
2. 泡瀬干潟について ① 干潟とはどのように定義される場所だとお考えですか？ ② 干潟にはどのような価値があるとお考えですか？	干潟への考え方、認識を確認
3. 沖縄市の将来のまちづくりについて ① 沖縄市の課題をあげてください。 ② 市の将来像について何が必要だとお考えですか？ ③ 市の活性化について何が必要だとお考えですか？	市の街づくりの考え方を確認
4. 国・沖縄県が行っている泡瀬地区公有水面埋立事業について賛成ですか？反対ですか？見直すべきとお考えですか？	国・県による埋立事業への意見を確認
5. 沖縄市が計画している東部海浜開発事業について ① 賛成ですか？反対ですか？見直すべきとお考えですか？ ② 本事業に関して賛成と反対が続くとどのような影響が予想されますか？	市による東部海浜開発事業への意見を確認
6. その他 ① 現在、国・沖縄県・沖縄市が公表している以外の情報をお持ちですか？	市が持っている以外の情報の確認

国・県への質問事項の決定

これまでの会議で出された各委員の疑問を解くために、国・沖縄県へ質問事項を作り送付し、回答をもらう。その内容を理解するために勉強会を行い、聞き取り調査を行うことを確認した。

国・県への質問の内容(抜粋)

国・県への質問の内容(抜粋)	設問の目的
1 国・沖縄県における本事業の位置付けについて 1 泡瀬干潟の面積とその考え方について教えてください。 2 新港地区の航路浚渫土砂処分の方法として泡瀬地区での埋立以外の方法を検討したことがありますか？ 3 埋立面積の算定方法を教えてください。 4 工事について教えてください。 5 土地の処分について教えてください。	国・県における東部海浜開発事業の考え方を確認
1 新港地区について 1 新港地区の概要を教えてください。(目的、現在の土地利用状況、FTZ区域の土地利用状況、今後の見通し等) 2 新港地区にある特別自由貿易地域と那覇地区にある自由貿易地域との違いを教えてください。	新港地区の現状や展望重要性を知る

調査票の送付先の決定

できるだけ多くの意見・情報を収集するために、過去6年間で沖縄市に要請をしている団体と傍聴者からの推薦団体、会議上で名前が挙がった団体のすべてに送付することとした。(合計51団体)

調査票送付団体

過去6年間で沖縄市に要請をしている団体(10団体)

泡瀬干潟を守る会、日本弁護士会、日本ベントス学会、全国自然保護連合、北限のジュゴンを見守る会、沖縄生物学会、WWFJ、貝類保全研究会、日韓共同干潟調査団、日本湿地ネットワーク

傍聴者からの推薦(5団体)

日本自然保護協会、琉球諸島を世界自然遺産にする会、日本野鳥の会、琉球湿地研究グループ、泡瀬干潟で遊ぶ会

会議上で(36団体)

沖縄市東部海浜リゾート開発推進協議会(34団体)、ちゅら島を創る市民の会、プライド泡瀬



議題)『人工島事業の理解のために』の疑問について

第7回会議での市からの回答について「具体的なものが何も見えてこない」「検討したが埋立理由の根拠がひとつもなかった」などの意見を受け、再度市から回答、説明を受けた。

市の回答・説明に対する意見

- ・事務局は「データが古い」こと、「需要予測、企業動向を更新する」こと、「社会情勢に合わせて土地利用を見直す」こと、を認めている。現時点で土地利用の変更ができることを確認したのでよい。
- ・「進出企業の目処をつけてから、土地を購入」とあるがどこで担保されているのか？目処というのはどういふことで、本当にそれが許されるのか。
- ・人工ビーチの管理費についてあざまサンサンビーチを例としてあげている。泡瀬とは単純に比べられない。もう少しあざまの環境条件を調べて提示してほしい。

予算や根拠等については、これ以上市に回答を求めるのは難しい。
納得はできないが、回答は求めないとする。
その他は必要に応じて引き続き回答を求める。

第9回検討会議は

6月4日(月)
新港地区の視察

を実施いたしました。

視察内容は

- ① 新港地区の状況の確認
- ② 新港地区入居企業の視察
- ③ 人工干潟の様子を確認 です。

